

「木のおもちゃについて」

なかよしライブラリーの考えるいい木のおもちゃとは、変化させることができる、上手になる、工夫できる、一緒に遊べる、美的で美しい自然素材、文化的で想像力を育てるものであるべきと考え、そのコンセプトを形にしています。まずは使用価値の高い、木のおもちゃとはどんなものか説明させていただきます。

- 1、 木のおもちゃは変化させることができる素材です。水や砂遊び、積み木などは、どんな形が変わって、飽きることはありません。保育室にプラレールを置き、もう一つの保育室には、木の積み木を置きました。2日目まではプラレールが人気ですが、3日目から積み木の部屋の方が大人気です。形を変化させ、遊ぶことのできる素材なら、子供たちは夢中になって遊ぶことができます。
- 2、 上手になる、工夫できるおもちゃ。子どもたちは同じ遊びを繰り返します。繰り返し遊ぶことで次の遊び方を考え工夫していきます。玉落としのおもちゃでは、何度も繰り返ししながら、色の違いや形の違いを見つけ、玉を途中で止め、早く落とすにはどうすればいいか考えながら、遊びの中で上手になれることで、子供たちは夢中になります。単純な動きだけれど、その中に工夫や上達方法を見つけて遊びます。
- 3、 一緒に遊べるおもちゃ。木のおもちゃは動かさないと動きませんので、向かう力が育ちます。最初はひとり遊び、並行遊び、そして一緒に遊ぶことのできる素材として、木のおもちゃがコミュニケーションの道具としての役割を持つことで、それぞれの年齢で遊び方が違っていても、みんなで遊ぶことができます。子どもたちはままごと遊びがとても大好きです。発育の中で経験したことを繰り返し確かめながら、言葉やしぐさを身に付けていきます。つもり遊びには道具が必要です。友達もお父さんお母さんの「そうだね」といった応援の言葉も大切ですね。家族の真ん中にやさしい木のおもちゃがあればできる、豊かな言葉遊び。木のおもちゃが家族の生活と文化を豊かに育ててくれます。
- 4、 美的で美しい自然素材のおもちゃ。突き出た脳と言われる手を使って素材に立ち向かい、変化させてさらに形を変え、上手になり、さらに力を最大限に発揮したくなる。そんなおもちゃがいいおもちゃと言えるのではないのでしょうか。土や水はとても気持ちいい素材ですね。素足で外を歩けばとても気持ちいい、子供たちは水遊びが大好きです。自然素材の木材は香りも感触も音もとても気持ちいいものですね。さらに、使い込めば色も良くなり、愛着がわいてきます。そして美的にも美しいものであれば家族団らんの真ん中に木のおもちゃは置いているだけで癒されます。飾っても美しいものであれば、生活の豊かさにも一役担うことができます。木のおもちゃは美しいものをおすすめです。
- 5、 文化的で想像力を育てる。私たち大人も子供時代に夢中で遊んだ経験があり、その延長線上にあるわけです。土遊びは陶芸家、絵描き遊びの延長線上に画家、積み木遊び

の先には建築家など、子供たちの豊かな遊びとその機会を大切に育てあげることが、豊かな子供たちの未来を作っていくための重要な事柄だと思います。テレビや携帯を見ると、それだけで楽しいものですね。でも、見ているだけでは表現力は育ちません。ピアノも練習しないと音楽を聴いただけでは弾くことができないように、豊かな言葉も受け身だけでは育ちません。表現力や想像力は言葉を出し、体験し、工夫し、体をおもいっきり使ってこそ身に付くもので、遊びは生きる力や向かう力を育てます。木のおもちゃが表現力を引き出し、表現力や想像力を遊びの中で培うことのできる素材でありたいと思います。

特に最近は携帯の普及で受け身的な機会が多くなっていますので、表現力を大切に育てる木のお家や、隠れ家的な木のハウス、遊びを豊かにするまごとの素材やお人形、そして、豊かにする想像力を育てる、絵本や美しい木のおもちゃは、居場所をしっかりと作ってあげること、居心地のいい空間を作ってあげることが大切と考えています。

私たちの作り出す木のおもちゃは、遊びの本質をしっかりと理解してデザインされた木のおもちゃであり、素材や作り方にも工夫を重ね、森林を守り育て、ものづくりの喜びと手仕事の技を次世代に残し、持続可能な事業として木のおもちゃ作りをしています。地球資源掠奪や周辺諸国の労働力搾取によって大量につくられる格安の木のおもちゃとは全く違うものであり、使用価値の高い製品と自信をもってお勧めできるものです。

ひとつひとつ丁寧なモノづくりをすることで、受け取った方が木のおもちゃに感激していただくことが、ものづくりを仕事として営む私たちにとって、とても大切な事柄ではないかと思います。資本主義の社会では、大量に生産し大量に販売することで利益を上げていきます。働く人たちはモノづくりの楽しさよりもどれだけ製造したかに価値が置かれてしまい、ものづくりの楽しみや、成長感を味わうことができなくなり、まるで機械の一部のように労働時間を切り売りすることで生活していくこととなってしまいました。自然の中で放し飼いされた卵や牛乳の方がはるかにおいしく安全であることは誰もが理解できます。モノにあふれた現在社会の中で、地球や人間にとって、いい家具、いい住宅、いい食べ物、いい服はどんなものか、点検してきましょう。使う方と作る人が同じ地球上で暮らし、いいものづくりと、いい使い方をともに深め合いながら、豊かな子供たちの成長と社会を作っていこうと思います。私たちのお勧めする「いい木のおもちゃ」は上記の5つのコンセプトでデザインされ、培われた技術と地域の人と資源と手仕事で作られた、地球環境に配慮した持続可能なモノづくりと考えています。